

## 『ツユクサ・リサーチエッセンス』の開始にあたり

フラワーエッセンスを深く学ぶことにおいて、植物を観察して洞察を得ることが大切なのですが、さらにFESフラワーエッセンスのプラクティショナー認定プログラムには、植物観察のレポート提出があります。2010年にそのプログラムに参加し、私は「ツユクサ」を選びました。

### 「ツユクサ」を選んだきっかけ

何年も前に、知人から電磁波よけのシールを買ったことがありました。シールができるまでの経緯は、同時期に何人もの人たちとお子さんが「ツユクサ」に同じ図形を見たことにより、電磁波よけの「ツユクサのシール」になったというこの理由にあります。

- 1、「ツユクサ」と図形に関係があること
- 2、一度に何人もの方が「ツユクサ」に同じ図形を見たこと
- 3、特別な人でなく大人も子供も同じ現象が起きたこと

私はこの三点に注目しました。しばらく経つとそのシールは販売されなくなってしまったのですが、ずっと頭から離れずにいました。よそ様のお庭に咲いていた「ツユクサ」を譲ってもらい、何年も自宅の庭で寄り添っていました。FES（ネバダ）の現地セラフローラで植物の観察方法を教えていただき「ツユクサ」を深く観察するに至りました。

### 「ツユクサ」のリサーチ開始

FESフラワーエッセンスの作り手の一人リチャード氏より手紙をいただき、そこには「ツユクサ」のフラワーエッセンス作用はレポートから紐解いた予測と近く、フラワーエッセンスとしての可能性が見出されたこと、臨床をする必要があることを受け取りました。この手紙がまだ曖昧だった私の感覚を引き上げ、臨床という行動へ導いてくださいました。

クライアントの皆さんを含め、個人的なりサーチに何年かが過ぎて行きました。企業にいた時とは違って、個人だと前に進無のに時間がかかることを思い知らされていました。日々追われ忘れたり、停滞時期でもありました。

2018年の春分から数日後「イギリスの公園の中を点々と咲く、ボラージュと紫陽花が一对になっている植物があり、引率の女性の先生によく観察するように言われる」夢を見たのです。FESのボラージュのフラワーエッセンスを服用し、紫陽花を観察し始めました。母をこの年の5月に亡くしたのですが、母が他界した2日前に咲き始めた実家の紫陽花。それからさらに紫陽花の花に興味を持ち、自宅でも寄り添うようになりました。

2019年に入り、ネイチャーワールド（株）から日本のフラワーエッセンス（ファーイースト・フラワーエッセンス）が発売されていたことに気づきました。コアジサイのエッセンスを見つけ、1年前の夢の通りFESのボラージュとコアジサイを服用し始めました。ファーイーストの作り手は「バッチフラワー花と錬金術」の著者の東昭史さんとわかり、コアジサイの作用のとおり一つの突破口を見出すために、ネイチャーワールド（株）

の玉井さんに、これまでの「ツユクサ」の経緯をお話しし、まずはリチャード氏の手紙とともに、東さんや玉井さんにも植物観察レポートを読んでいただきたく、その秋に3人で会うことができました。

東さんは真摯に聞いてくださいました。帰り道で2週間前からバッチのフラワーエッセンス、ホームビーンを取っていたこととお話しすると、「ホームビーンはギアを入れなおしますからね」と教えてくださって、大変腑に落ちました。同時にファーイーストのリサーチエッセンスのプチリサーチ会を開くので参加しませんか」とお誘いいただき、「ツユクサ」に対してのリサーチも加えてくださいました。参加の皆さんの体験を伺うことができ、その作用にさらに確信を得ていくことができました。他のリサーチエッセンスも私への癒しに効果的で、日本の花にますます興味が湧き始めました。

この体験が、普段からフラワーエッセンスを愛好している会員の皆様だったらどんな体験をなさるだろうかと閃き、勇気を持ってフラワーエッセンス普及協会さんへリサーチ募集のお願いを致しました。とても好意的に受け入れてくださり、リサーチが拡大しています。

私が授かった名も知らぬ何人もの人々の「ツユクサシール」は、物質からエネルギーへと代わり、バトンが繋がっています。このプロセスに関わる全ての人々やフラワーエッセンスの花が、一つの植物に関わるチームのように感じます。東さんもその後も「ツユクサ」にアンテナを張ってくださり、ファーイースト・フラワーエッセンスからも「ツユクサ・リサーチエッセンス」が発売になり、さらにリサーチが進むことに光が感じられました。